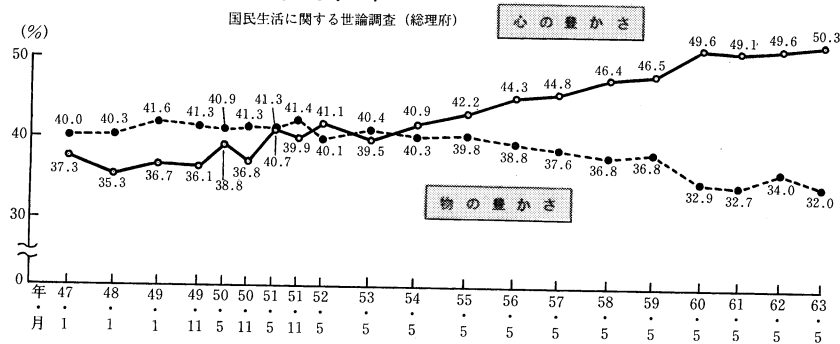


資料2 豊かさについての意識（心の豊かさか、物の豊かさか）  
あなたは、どちらを求めますか？



最近、ふるさと創生や地域の活性化

一、生涯学習について

びたいという人々が多くなってきてお  
ります。

資料3 男女別にみた人気学習関心項目 (NHK 調査)

男 (N = 1,109)		女 (N = 1,279)	
	%		%
園芸	25.6	編みもの	31.9
釣り	22.7	着付け(家)	27.1
ゴルフ	22.7	和風料理	24.6
税金の知識	20.6	書道	23.8
英語会話	20.4	園芸	22.2
スキー	17.4	華道	20.8
カメラ・写真	17.2	パン・菓子づくり	20.3
囲碁	17.1	テニス	19.8
野球	16.1	洋裁(家)	19.4
将棋	15.6	ペン習字	18.8
書道	15.0	茶道	16.9
貯蓄・投資・株	14.4	お惣菜・弁当	16.7
年金・保険の知	14.4	室内装飾	16.4
テニス	14.4	成人病の子防	16.4
住まいの手入れ・修理	14.3	洋風料理	16.3
日本の歴史	14.2	着付け(職)	16.0
話し方・スピーチ	14.1	和裁(家)	15.9
成人病の子防	13.7	美容と健康	15.6
ジョギング	13.3	年金・保険の知	15.4
最近の国際情勢	13.3	英語会話	15.3
家庭大工	13.2	自然食品・健康食品	15.2
資源・エネルギー問題一般	12.8	ダンス	14.5
事故・トラブルの法律知識	12.6	こころの健康	14.2
映画	12.1	食品添加物	13.2
社会保障と社会福祉の基礎知識	12.1	栄養の知識	12.9

のための事業が盛り上がりを見せている中で、人づくりやまちづくりと関わり、生涯学習が改めて脚光を浴びています。

国では、中央教育審議会より「生涯学習の基盤整備について」の答申が出されるなど、今後の展望に大きな期待が寄せられています。

県内でも、生涯学習の重要性の認識が深まり、これを推進するための組織等が整備された市町村も多くなってきております。

次に、生涯教育と学校教育との関わりや県が行っている生涯教育推進事業等、基本的な事について考えてみましょう。

1 生涯学習とは

「人々が生涯にわたって、より充実した人生を送ることを目指して、自発

的意識に基づき、自己に適した手段方法により、継続的に行う学習活動である」といわれています。

2 なぜ、今、生涯学習なのか

(1) 社会の変化に対応して  
近年の情報化、高齢化、国際化等の動きは先を見通すことのできないほど早いスピードで進んでいます。

このような変化の激しい社会の中で生きていくためにも、また、人生八十年時代といわれる長寿社会の到来に伴う生きがいづくりのためにも、私たちは時代の流れにそった、新しい知識や技術を身に付け、自らを成長させていく努力が必要となっています。

(2) 成熟する社会に対応して

生活水準の向上、高学歴化、自由時間の増大などにより、人々の価値観が

高度化し多様化してきています。

また、今日人々の豊かさの意識は「物の豊かさ」より「心の豊かさ」をより強く求めています。(資料2参照)

このような人々の意識の変化は、「心の豊かさ」のために生活の楽しみや生きがいを求める学習(趣味、教養健康づくり、スポーツ、レクリエーション活動)への関心を高めています。(資料3参照)

(3) 学歴社会から学習社会へ

今まで、人生の前半で修得した学歴、即ち「どこで学んだか」が個人に対する評価の観点になることが多かったようです。しかし、これからは、いかに高度な内容を学ぶかという学習から、生涯にわたって学ぶ喜びを味わいながら、人間としてどう生きてらよいかという学習へ変化することが大切です。そして「なにを、どれだけ学んだか」